

司会：辻本副部会長

書記：穴山

出席：中村、立石、堀江、高橋、中川、川上(エステ・コート)、福田(4-1)、鈴木(5丁目)、  
福岡(5-1)、工藤(5-2)、福岡(5-3)、尾上(7丁目)

欠席：花井、明井(1-3)、根岸(グランヴィル)、平川(2丁目)、芳野(3丁目)、加藤(4-2)

配布物：定例会レジュメ、第5回議事録、トランシーバー送受信調査結果、在宅避難の課題と対応、  
マンション防災リーフレット、東京防災(抜粋)、そなえるドリル

## 1 前回会議事録の確認

## 2 報告事項

(1) 鈴木西部消防署長による10/21の災害派遣体験談講演会の報告。

出席者51名、今後30年以内の大地震の確率70%であることや陸前高田への派遣時の話など。

(2) トランシーバー交信訓練の訓練状況報告。

本部で2台のトランシーバーを近くに置いていたため、干渉し合って、交信音がハウリングした。

(3) 各グループからの活動報告

### 避難所マニュアル策定グループ

松葉第一小学校、松葉第二小学校と手順書について最終調整を行い、12月初旬頃、

配布予定。松葉近隣センターについては、独自の柏市の手順書があるため、策定は見送る。

避難所開設手順書策定終了後は、避難所運営マニュアルを手掛けていく。8月に行なった全体会議での健康づくり推進課や民生委員の意見を参考に女性目線を取り込んでいく。

## 3 協議調整事項

(1) 配布した防災関係の資料を在宅避難の参考にして頂きたい。

(2) 在宅避難の問題点等

配布した在宅避難の課題と対応について(とりまとめ案)を元に、各自の意見をいただきたい。

5-1: マンションでは災害時にトイレが課題である。

昼間人口と夜間人口が異なるので災害時間帯により対応が変わるかと思う。

平日日中に災害が起ると、在宅しているのは高齢者が多い。また、帰宅困難者も出る。

7丁目: 災害時に自身の所在を知らせるためにも連絡手段の確立が大切。

5-2: 独自の在宅避難マニュアル作成の予定。

エステコート: 防災の情報共有が難しい。

5-3: 役員任期が単年度で継続性がなく、組織的に動く意識の確立が難しい。

高齢により回覧版を次に回せない、町会の高齢化が進みブロック単位の活動も困難。

防災対策の第一目標として大規模修繕の最中である。

6丁目: 共助が脆弱になっている。

(3) 松葉地域防災訓練の訓練メニューについて(案)

- ・ 町会単位ではなく、各自で訓練会場(松葉中学校)に集まり、避難者名簿記載後、2グループに分かれ、避難所立ち上げ訓練と実技講習(AED操作訓練など)で入れ替える。 予選22参照
- ・ 起震車による東日本大震災の体験(長く、強い揺れの体験)
- ・ シェイクアウト訓練(いざという時に動けるように訓練することは有意義)
- ・ 市の担当と安否確認結果や在宅避難者への物資数の報告方法などの訓練
- ・ 給水車を派遣要請し、給水体験と自宅へ運搬するにあたり重さを体験してもらう。  
高齢化が進み、自宅に運ぶ手段が課題である(手提用水袋や飲料水用ポリバケツ、リヤカー等の用意)。
- ・ 訓練会場に集まらない人は、NTTの防災アプリメニューにより訓練参加(当日の参加数がわかる)。